



<mark>89号</mark> 2018.3月

一方井保育所では、みずき団子づくりを通して世代間交流をしました!



編集と発行

社会福祉法人 岩手町社会福祉協議会

岩手町大字五日市10-51-1

TEL.0195-62-3570 FAX.0195-62-1599

●Eメール iwatetow@eins.rnac.ne.jp

●ホームページ http://iwatemachi_shakyo.org

	● 第25回岩手町福祉作文コンクール作品紹介 … 2~10
	●岩手町シルバー人材センターの紹介11
	● 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金のご報告・・・ 12~13
	●生活福祉資金のご紹介14
	●生活困窮者自立支援事業のご紹介15
次	● まちの福祉・寄附のご報告 16



第25回岩手町福祉作文コンクールを実施

育てよう 思いやりの心 助け合いの心 福祉の心

社会福祉協議会では町内の小・中・高校生を対象に、高齢者や障がい者にやさしいまちづくりを目指し、 地域福祉への理解と関心を高めることを目的として、岩手町福祉作文コンクールを毎年実施しています。25 回目を迎えた今年度も、学校や家庭、福祉施設での体験や、高齢者・障がい者との交流によって育まれた思 いやりの心・助け合いの気持ちなど、福祉の心にあふれたたくさんの作品が寄せられました。

第 25 回岩手町福祉作文コンクール 入選作品 (応募総数 48 点)

《小学校 低学年の部》

入 選	学校名	学年			f	氏	名	作 品 名
最優秀賞	川口小学校	2	Ш :	本	=	詩	やまもと うた	二つのしごとをがんばるおじいちゃん
優 秀 賞	一方井小学校	2	帷	子	凛耳	玖	かたびら りく	三人のヒーロー
佳 作	川口小学校	1	Ш		怜 氵		かわぐち れみ	だいすきなじじとばば
佳 作	一方井小学校	1	遠	藤	美月	月	えんどう みづき	じまんのふたり
佳 作	沼宮内小学校	1		廽	愛	朷	ひまわし あいり	わたしのおばあちゃん
佳 作	沼宮内小学校	2	Ξ	浦	陽茉季	梨	みうら ひまり	やさい大すきおとうさん

《小学校 中学年の部》

入 選	学校名	学年		氏	名	作品名
最優秀賞	沼宮内小学校	3	澤屋敷 仁	良	さわやしき ひろ	つみき
優 秀 賞	沼宮内小学校	4	大 村 祈	乃	おおむら いの	わたしの生きかた
佳 作	久 保 小 学 校	3	武田	椿	たけだ つばき	大切なおばあちゃん
佳 作	沼宮内小学校	3	齋 藤	颯	さいとう はやて	大切なお母さんへ
佳 作	水堀小学校	3	早 坂 拓	磨	はやさか たくま	ゆう気を出して
佳 作	沼宮内小学校	4	早 坂 凛	音	はやさか りお	車いすの人の気持ちになって
佳 作	水堀小学校	4	中居亜	海	なかい あみ	つづけられたらいいのにな
佳 作	久保小学校	4	久 保 永	和	くぼ とわ	はたらき者のおじいちゃん

《小学校 高学年の部》

入道	巽	学校名	学年				氏	名	作品名
最優秀	賞	一方井小学校	6	武	\blacksquare	悠	那	たけだ ゆうな	尊い命を大切に
優 秀	賞	沼宮内小学校	6	鈴	木	利	奈	すずき りな	大好きな私の町のために支え合いたい
佳	作	沼宮内小学校	5	小	島	幸	大	こじま こうだい	人はすべてみんな同じなのだ
佳	作	川口小学校	5	金	澤	陽	菜	かなざわ ひな	お年寄りは地域の宝物
佳	作	水堀小学校	6	澤			椿	さわぐち つばき	差別しない心
佳	作	川口小学校	6	岩	澤		円	いわさわ つぶら	私の本当の宝物
佳	作	久保小学校	6	西	野		颯	にしの はやて	募金活動を通して
佳	作	沼宮内小学校	6	柵	Ш	美	33	さくやま みう	誰かの笑顔を思って

《中学校の部》

入 選	学校名	学年		氏	名	作 品 名
最優秀賞	川口中学校	3	齋 藤	新	さいとう あらた	困難から学ぶ
優 秀 賞	沼宮内中学校	3	大 石	風乃	おおいし はやの	障がい者と共に
佳 作	沼宮内中学校	1	佐々木	亜 門	ささき あもん	「思いやり」
佳 作	一方井中学校	1	国枝	愛 友	くにえだ あゆ	社会福祉に学んだこと
佳 作	一方井中学校	1	田村	千 里	たむら ちり	祖父から学んだ生き方
佳 作	沼宮内中学校	3	佐々木	花	ささき はな	今、必要なこと
佳 作	川口中学校	3	柴 田	あお	しばた あお	こういう人になりたい

《高校の部》

人 選	字校名	字年				比	名		保品名
最優秀賞	沼宮内高等学校	3	千	葉	菜	摘	ちば	なつみ	高齢者と障がいのある方を大切にすると いうこととは

品紹介

小学校 低学年の部

WATER CONTROL OF THE PARTY OF T

川口小学校 二年 山本 うた

ごとをしています。 ぼくのおじいちゃんは、二つのし

くしごとです。 一つはIGRの切ぷにはんこをつ

と、さそわれたことがありました。 「IGRのおしごとを見てみない

においで。」 とわろうと思っていると、 おしごとのじゃまになると思い、こ 「えんりょしなくていいんだよ。見

きでおりてきた人の切ぷにつぎつぎ と言ってくれたので行くことにしま た。あいさつのだいじさを教わりま はいどうもとこえをかけていまし はんこをつくときに、一人一人に、 とはんこをついていました。あと、 した。おじいちゃんは、たきざわえ

の山にのぼってガイドをすることで もう一つのしごとは、八まんたい

「がんばれ。あともうすこしだか

なりました。 てよかったとすがすがしい気もちに とができて、がんばってのぼってき ました。とてもいいけしきを見るこ リやスミレ、水ばしょうの花も見え た。スギの木もたくさん見えて、ユ きました。ちょうじょうにつくと、 そのことばを聞いてゆう気がわいて とはげましてくれました。ぼくは、 太ようがとてもキラキラしていまし

ちゃん。いつもがんばっているおじ いちゃんは、ぼくのたからものです。 二つのしごとをしているおじい

とがあります。そのときぼくは、足 のことをつたえると、 がとてもつかれてしまいました。そ す。前にいっしょに山にのぼったこ

講

初め・中(中一と中二)・終わりの

の興味をそそる書き出しがいい。

「二つの仕事って何?」と、読み手

文章構成がすっきりしている。

いる。 八幡平頂上の情景を書き込むこと 上がっている。 詩君のおじいさんのお人柄が浮かび 会話文が効果的に織り込まれ、山本

で、詩君の清々しい心情が際立って 子供の観察眼は、純粋でしかも鋭い。 勢は、二年生の孫に「ぼくの宝物」 おじいさんの誠実で柔和な生きる姿 しまう作品 く生きて行かなければと励まされて 大人こそシャンと背を伸ばして明る として確実に伝わっている。



小学校 中学年の部

だった。

るの世

沼宮内小学校三年、澤屋教育 仁良人

.

「ベキベキ、バキ。」

めにまきわりをつづける。体があつくなってくる。ぼくはまじれど、わったまきをつんでいくたび、をする。外は冬。はじめはさむいけをする。外は冬。はじめはさむいけぼくは、家族のために、まきわり

「部屋をかたづけて。」し、めんどくさくてやらないでいた。とを、言われていたけれど、あついもあつかった。部屋をかたづけるこ

に。むかついて、つい、ちょうど物語のいいところだったの

ーいやだ。」

のようだ。体が重くなる。に何十キロも追いかけられているかも長くて、まるでぼう走している車が始まってしまう。その説教はとてがらまってしまうと、すぐに説教

が出た。
この前、道徳の時間にしゅくだい

家族にインタビューをする内よう

「なぜ、ぼくのことをしかるのか。」「なぜ、ぼくのことをしかるのか。」「やっていい事とわるい事を、そしてやらなければいけない事をわかってほしいからなんだよ。」
に思ってくれていることを知った。ぼくが大人になって、うそをつかないような、わるい事をしないような、とが大人になって、うそをつかないような、わるい事をしないような、ありがとうの気持ちが、ぼくの心の中にいっぱい広がった。

がおで、「できることなら、かわってあげた「できることなら、かわってあげた

ぼくは、これからもまきわりをすと言うことができた。

る。家族のために、ぼくがやらなけ

いくね。
いくね。
いくね。
いくね。

講評

伝わってくる。 意味が、最後まで読んでじんわりと題名「つみき」に込められた二重の

い。あり、言い回しが個性的ですばらし、澤屋敷仁良君の言葉の選択が独特で

「父や母は、ぼくをしかるときそんだ。」ロも追いかけられているかのよう「まるでぼう走している車に何十キ」

仁良君はきっと本好きなんだろう。「父や母は、ぼくをしかるときそん「ほくがわったまきが小屋の後ろにいま明がら。」等々、仁良君にしか書けない表現が楽しい。

豊かな心が育っている。

るから、父母の慈しみを理解し、しっ読書を通して様々な表現に接してい

かりと自分自身を読むことができて

小学校 高学年の部

方井小学校 六年 武田 悠那

苦しい状況を終わりにしたいと命を とを誰かに話すことができず、悩み、 して自殺をする人は、悩んでいるこ ニュースを聞くたびに、悲しく苦し ニュースを耳にします。このような 絶ってしまうのだと思います。 い気持ちになります。いじめを苦に て命をなくしてしまう小中学生の いじめを理由に自 殺をし

と考えました。 るとすれば、どんなことなのだろう、 にできることはあるのだろうか。あ 尊い命を大切にするために、自分

す。そこは、車の通りが多く、子ど 呼んでいます。とこやのじっちゃん は愛称で「とこやのじっちゃん」と もたちが渡りたくても車がとまりま て私たちの安全を見守ってくれま に元気をくれる人がいます。私たち ありました。この地域には、私たち その答えは、案外身近なところに 授業がある日、お寺の前に立っ

> こやのじっちゃんと話すと明るい気 まってくれます。それだけでは という気持ちになります。 持ちになり、今日も一日がんばろう かけてくれたりしています。私もと りにあいさつをしたり、気軽に声を す。そして、毎日、私たち一人ひと になるとゆう雪ざいをまいてくれま 道路が凍ってつるつるにすべるよう わかれば、はいて道を開けてくれ、 りません。落ち葉が積もっていると んがそこに立ってくれると車が止 せん。けれども、とこやのじっち

とこやのじっちゃんみたいに人を元 話すことができると思います。私も そういう人になら、安心して悩みを りをもって人に接している人です。 れるとこやのじっちゃんは、思いや ようになりました。 気にさせられる人になりたいと思う 毎日、私たちのことを見守ってく

だろうか、と考えるようになりまし は、なんだろうか。それは、家族や 友達が笑顔でくらすことではないの それから、自分が日々できること

ら六年生まで六、七人が集まって協 たてわり遊びがあります。一年生か 私が通う一方井小学校では、全校

> います。 ば、一人ぼっちの人なんていない、 力して遊びます。私たち六年生が 笑顔あふれる楽しい学校になると思 わり班遊びで、みんなが仲良くなれ たりすることを学んでいます。たて 相手の立場に立って行動したり考え く楽しく遊べるか考えることは、少 ます。どうすれば、 リーダーとなり、 べるような遊びやルールを考えてい し大変ですが、それを考えることで みんなが仲良く遊 班員全員が仲良

絶つ人が一人でも減るのではないで てこれからも実践していきたいです。 見るために自分ができることを考え れました。自分が接する人の笑顔を 葉で、改めて命の大切さに気付かさ らない命は一つもない。」という言 しょうか。ある本に書かれていた「い みんなが大切にすれば、自分の命を 思いやりを持って人と接することを いじめは絶対だめという考えで、

講評

う。
く苦しい気持ちになる人は多いだろ
悲惨なニュースを聞くたびに、悲し
その知はいまだに真知にあらず」

ない。 だが、武田悠那さんはそこで止まら

構成にまとめている。高学年らしいにできることは何か」と考えを進めて、できることは何か」と考えを進めて、できることは何か」と考えを進めて、できることは何か」と考えを進めて、自分の周囲に目を向けている。そしい遊び」で学んでいることに気づく。ともすれば抽象的思索になりがちなともすれば抽象的思索になりがちなともすれば抽象的思索になりがちなともすれば抽象的思索になりがちないる。高学年らしいできることは何か」「自分が日々にできることは何か」「自分が日々にできることは何か」「自分にできることは何か」「自分にできることは何か」「自分にできることは何か」「自分にできることは何か」と表える。

中学校の部

困難から学ぶ

川口中学校 三年

新

「何で自分がこんな目に遭わなけれ

今まで、何回もこう思うことがあばならないんだ。」

りました。

小学校六年生としての最後の日、 私は五年生の時から痛めていた左足 を手術しました。それによって、左 を手術しました。それによって、左 で移動することになりました。今ま でできていたことができなくなり、 でできていたことができなくなり、 さした。そして、何より辛かったの は、自分が大好きで、今までやって さたホッケーができなくなったこと でした。

すことや足の指でタオルをつかむなるようになりました。足の指を動かるとリハビリ室で、リハビリができですが、だんだん痛みが和らいでくいは、痛みで動くことも難しかったいは、痛みで動くことも難しかったいは、痛みですが、がしてから五日くら

くできませんでした。にできることが、その時の私には全ど、足に何も支障がない人なら容易

ビリが重要でした。

二十分位しかありませんでした。で
二十分位しかありませんでした。で
がついて指導やアドバイスをしてく
がついて指導やアドバイスをしてく

かやるんだよ。」「一人でもできるから、一日に何回

と言われたので、私は、暇になったと言われたので、私は、暇になったいと強く思っていたからこそ、諦めた後も家でのリハビリをしました。おと強く思っていたからこそ、諦めいと強く思っていたからこそ、諦めいと強く思っていたからこそ、諦めいと強く思っていたからこそ、諦めいと強く思っていたがない。

先生方などでした。もし、自分が誰や学校の入学式には、医師の許可中学校の入学式になったのは五中学校に通えるようになったのは五色々と、困難なことは多かったです。色々と、困難なことは多かったです。時段の上り下りは、倒れたり転びそびさったのは当時の先輩しかった。というになったりして、特に難しかったです。しかし、そんな時に支えてくかというという。

とができたと思います。とができたと思います。とができたと思います。あの時、たいても怪我なく、まともに一日生活ではないけれど、まともに一日生活ではないけれど、まともに一日生活にも助けられずに学校生活や家でのとができたと思います。

くれました。 リ生活は、私に色々なことを教えて中学一年生の時に経験したリハビ

一つ目は、どんなに苦しい時で、

悔しくて嫌になったとしても諦めない気持ちが、自分の目標に向かって 突き進むための最大の行動源になる ということです。二つ目は、支えて くださる方がいることは、とても幸 せで人が生活していく中でいなくて はならない、大切な存在だというこ とです。

心と仲間からの思いやりや助けを大どで苦しんでいる人には、諦めないは、満足して生活できています。できないと思っていた自分でも今でときは、もうホッケーも何もかもできないと思っていた自分でも今では、満足して生活できています。ですから、今、私と同じように怪我ないと仲間からの思いやりや助けを大どで苦しんでいる人には、諦めないを見がいる人には、諦めないを対した。

していきたいと思っています。うな人になりたい。そういう行動を立ち向かっている人を助けられるよと思います。そして、自分も困難に切にして、怪我に打ち勝ってほしい



講評

の実情について理解を深めている例の不自由さを疑似体験することでそ学校での福祉体験学習は、要介護者

で描かれている。そこで学び得たこい気持ちの大切さと支えてくれる人い気持ちの大切さと支えてくれる人い気持ちの大切さと支えてくれる人いに刺もしい。 に頼もしい。 この体験は、新君のこれからの人生が多い。

においても大きな支えとなるに違い

※福祉作文コンクール審査後の十 一月十一・十二日、第十八回全 日本中学生都道府県対抗十一人 目本中学生都道府県対抗十一人 において、ゴールキーパー齋藤 新選手は岩手選抜の主将として チームをまとめ、全日本選手権 王者の栃木を破り、ベスト八に 導く活躍をした。

同論者と障がいのある方で 高等学校の部

ました。

沼宮内高等学校 三年 千葉 菜摘

す。このような方たちに活躍しても りも元気で優しい人が多いと思いま 者の方々は、私たちが思っているよ うに、私たちの身の周りにいる高齢 るので、私はすがすがしい気持ちで す。その時に笑顔で声をかけてくれ 五パーセントを超えています。 に話してもらうことが出来ると思い 校と連携をして昔の話を児童と生徒 帯にあいさつをしてもらったり、学 と思いました。例えば、通学の時間 らうことが出来たら活気が出てくる 学校に行くことが出来ます。このよ をかけてくれる高齢者の方がいま あり、意味のあることだと思います。 触れ合う機会を増やすことは可能で 者は日本全体の割合より高く、 例えば、私の学校までの通学路に そのような中で、高齢者の方々と 私たちの住んでいる岩手町の高齢 朝会った時に「おはよう」と声

> 思いました。 とにつながっているのだろうと私は にとっては子どもたちと触れ合うこ かけました。その叱ることも高齢者 たことをして、叱られているのを見 また、ある時は小さい子が間違

ていることを話してくれたのだなと の家では、毎年、トウモロコシを作っ くれました。おそらく、 =トウモロコシであることを教えて 驚きました。もう一つは、「きみ」 いたら、お母さんのことだったので たので、お父さんのことかと思って のアッパ=パパ、お父さんに似てい 好きで、その時に言っていた韓国語 ました。私は韓国ドラマを見るのが という意味であることを教えてくれ ることが分からずに困っていたら、 した。私は方言にあまり慣れていな さんが私に方言のお話をしてくれま 加したときに、私が担当したおじい ます。以前、ふれあい看護体験に参 の出来事を学ぶことが出来ると思い 「あっぱ」というのは「お母さん」 の意味を教えてくれました。例えば、 おじいさんが話した方言の一つ一つ いので、そのおじいさんの話してい 高齢者の方がいることによって昔 おじいさん

> で知ることが出来ると思いました。 なった方言も高齢者と交流すること このように、若い人は使わなく

ことが出来ました。 うに積極的に挑戦していこうと思う な学びであると私は思いました。積 仕事でもあり、 はそれがあたりまえですが、障がい ました。障がいのない方々にとって を持っていることを知ることが出来 で、私は障がいのある方々は、自分 る方と接する体験をしました。そこ ボランティアに参加し、 極的な方々が多く、私も負けないよ のある方々にとってはそれが第一の から自分のことをやっていく懸命さ また、私は七月に特別支援学校の 生きていく上で必要 障がいのあ

決してかわいそうだったりすること いがあることは一つの個性であり、 の方が話していたのを聞いて、障が せることだと支援学校の先生や家族 とは彼らにとっていやな気持ちにさ いそう」などといった同情を持つこ こともあるということも教えてくれ で働くときにその個性が生かされる た。また、障がいのある方々が社会 ではないのだと考えさせられまし 障がいのある方々に対して「かわ 理解することが出来ました。

にかけて声をかけたりしていくこと

ました。一つの物事に対して集中力 があったり、単純な作業であれば、 摩がいのない方々と同じぐらいの仕 摩が出来ることもあると、あるテレ と番組でやっていたのを思い出しま した。かわいそうに思うのではなく、 したがあると考えることで障がいの仕 ある方々に対して考えが変わってく あると思います。

私は、このような体験を通じて、とりを大切に思うことの重要さを学びました。障がいのある方が殺害されたというニュースなど決してあってはないうニュースなど決してあってはないまかな悲しい事件が起こらないような悲しい事件が起こらないような悲しい事件が起こらないような悲しい事件が起こらないよが必要だと思います。

さらに、高齢者と障がいのある方との距離を縮めるために、たとえばまられます。私たちのことを見守ったちへの気遣いとして、出来るのではないかと思いました。
私たちのような世代から、このような活動に参加したり、日頃から気

ちが出来ていくと思います。で、お互いに住みやすい、優しいま

講評

とは多い。

一大田ののでは、

一本語がいるとどの

一大田のの中で、

一本語がは、

一本語がは、

一本語がいるとどの

一本語がいるとどの

一本語がは、

一本語がいるとどの

一本語がいるといる。

一本語が、

一本語がは、

一本語が、

一本語が、

一本語がは、

一本語がは、

一本語が、

一本語が、

一本語がは、

一本語が、

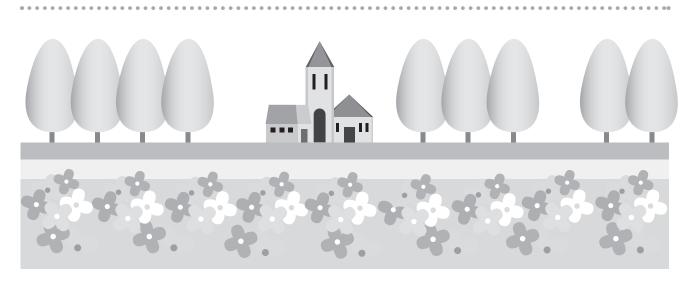
一本語が、

一本語が、

一本語がは、

一本語が

「障がい者は自分から自分のことを「のつことは彼らにとって嫌な気持ちにて、お互いに住みよい優しい岩手町で、お互いに住みよい優しい岩手町で、お互いに住みよい優しい岩手町で、お互いに住みよい優しい岩手町が出来ていく。人間として当たり前にすること。 大隅がにないた。 大間として当たり前にすること。 大隅がにおってくる。



「福祉の心」 が確実に育っています

と」と概括的に定義した方もいますが、 福 祉の心とは、誰に対しても優しさを配れる強さのこ 貴方はどう考えま

うです。 うと、返ってくる回答は一般的に次の二つに集約されるよ 「福祉の心とは、 どのようなものだと思いますか。」と問

遣い行動したくなるような誰もが持っている心的徳性。 ②支え合い。 ①思いやり。 献身とか自己犠牲といった発想ではなく、 相手の状況を感覚的に理解し、 相手を気

が、スパッと表現することは難しいものです。大体のニュ 課題も多く横たわっていることに気づかされます。 を知ると、なおさら美的言葉だけでは言い表せない深刻な るようです。社会福祉の現場で働く方々の困難さや過酷さ や他者への気配りという意味を含む表現になりそうです アンスは共有できても、その広さや深さは人によって異な お互い様、共に生きていくという人間尊重の考え方。 改めて「福祉の心」を定義づけようと試みると、優しさ

ります。体験したことを書くことで様々考えを深めていま 子供たちの感性は鋭く、表現意欲には素晴らしいものがあ 祉の心」に焦点化し、 福祉の心」に関わっての実体験や学習したことを基に、「福 そんな中、 例年たくさん応募してくれています。 どの作品も読み手の心を揺さぶります。 「福祉作文コンクール」に町内各小中高校か 自分の考えを文章にまとめています。 子供たちなりの

> あります。 た各校の先生方のご労苦に敬意と感謝の思いでいっぱい で

学習は恒例化しています。作文にも、前年度の交流学習の がしたためられています。 反省を基にした今年度のその子なりの積極的な学びの形成 今や各校の福祉教育は定着し、 福祉体験学習や訪問交流

年の発達段階に応じた子供の成長が認められる作品が多く ありました。 今年も子供の作文から大事なことを多く学びました。

学

単には括らないで欲しいなと思いました。字数制限があり なかなか難しいことではありますが。 ることも伝わってきました。欲を言えば、結論の部分を簡 論・本論・結論の文章構成に配意し、考えが整理されてい る文字が極めて丁寧なことです。一文字一文字思いを込め て記してくれた作品であると受け止めました。さらに、序 また、ここ数年印象的なことは、原稿用紙に書かれてあ

指導くださった学校の先生方、そして、社会福祉協議会等 育む機会を提供くださっているご家族の皆様、地域の方々、 の心」が培われています。岩手町の児童生徒に福祉の心を 素敵な子供たちが育っています。多くの子供たちに「福祉 で一所懸命な子供たちの姿に触れていただきたいのです。 この入選作品集の一つ一つから、岩手町の素直で真面 関係機関の皆様方に心より感謝申し上げます。

(審査委員長) 岩手町教育長 平澤 勝郎

子供たちを導き作品を仕上げるまで丁寧に指導に当たっ

ご存知ですか?

岩手町シルバー人材

主な作業内容の紹介

草刈作業



掃除作業





日曜大工作業



TEL 0195-62-3570 《岩手町シルバー人材センター》

します。

岩手町シルバー人材センターとは?

目的に活動している団体です。 方などの要請によって仕事をし、地域に貢献することを 岩手町シルバー人材センターは、人手不足でお困りの

リアで培ったノウハウを活かしてきめ細やかにお手伝い 利用方法については下記をご確認下さい。 家の周りの草取りや草刈、冬場の除雪など、長年のキャ

仕事を依頼したいときには…

①まずはお電話で

します。 を聞き、話し合いの上で条件等を考慮し、依頼をお受け 気軽にお電話で連絡いただければ、 職員が仕事の内容

②就業の請負

依頼を受けた仕事に合った会員を割り当てて、就業し

ます。 ③利用料の請求 了後、依頼者からカードに作業内容の確認と署名・捺印 派遣を受けた会員が就労カードを持参します。作業終

をいただきます。後日、利用料を計算し、郵送にて請求

④利用料の支払い

は振込にてお支払いいただきます。 請求書と一緒に払込用紙をお届けしますので、現金又

岩手町シルバー人材センター会員募集中!

ターまでお問い合わせください。 活躍は、あなたの生きがいにつながるものと思います。 仲間とのふれあいや、お客様から喜ばれる地域社会での ています。シルバー人材センターでの仕事を通じて働く てたいという方や、自分の生きがいにしたい方を募集し る六十歳以上で、自分の経験や技術を地域のために役立 岩手町シルバー人材センターでは、町内に居住してい 会員登録を希望される方は、岩手町シルバー人材セン





◆戸別募金(一般募金・歳末募金)

* * *****			
地 区	世帯数	一般募金	歳末募金
前ケ沢	17	15,300	3,400
吉谷地	6	5,400	1,200
御堂新田	15	13,500	3,000
御堂	36	32,400	7,200
水堀	32	28,800	6,400
小山沢	13	11,700	2,600
朽木林	20	18,000	4,000
北上	6	5,400	1,200
上横沢	23	20,700	4,600
下横沢	21	18,900	4,200
尾呂部	60	54,000	12,000
川原木	50	45,000	10,000
笈の口	20	18,000	4,000
豊岡	33	29,700	6,600
大坊	91	81,900	18,200
岩瀬張	38	34,200	7,600
曲り	8	7,200	1,600
一本柳・白椛・ 日ノ神子	42	37,800	8,400
下屋敷・膝突・ 葉の木・上平	41	36,900	8,200
小金沢・ 大金沢	17	15,300	3,400
相寅瀬・万部・ 落葉	44	39,600	8,800
大平	9	8,100	1,800
上・下五日市	171	153,900	34,200
新町・城山	130	117,000	26,000
民部田住宅	130	117,000	26,000
柳橋	40	36,000	8,000
舘	119	107,100	23,800

地 区	世帯数	一般募金	歳末募金
田中・栄小路	54	48,600	10,800
上大町	35	31,500	7,000
下大町	68	61,200	13,600
上野口町	50	45,000	10,000
下野口町	35	31,500	7,000
上愛宕下	49	44,100	9,800
新愛宕下	83	74,700	16,600
下愛宕下	110	99,000	22,000
江刈内	52	46,800	10,400
石神	83	74,700	16,600
上苗代沢	38	34,200	7,600
下苗代沢 1	60	54,000	12,000
下苗代沢 2	44	39,600	8,800
駅前	21	18,900	4,200
犬袋	126	113,400	25,200
子抱団地	15	13,500	3,000
細沢	41	36,900	8,200
太田	54	48,600	10,800
横田	94	84,600	18,800
半在家	18	16,200	3,600
久保・落合	56	50,400	11,200
新田	43	38,700	8,600
土川	53	46,800	10,400
大森	25	22,500	5,000
一方井	105	94,500	21,000
中田	34	30,600	6,800
黒石	69	62,100	13,800
大股	11	9,900	2,200
上黒内	22	19,800	4,400

			(単位:円)
地 区	世帯数	一般募金	歳末募金
下黒内	44	39,600	8,800
葉木田	46	41,400	9,200
今松	53	47,700	10,600
上鴨沢	51	45,900	10,200
下鴨沢	33	29,700	6,600
上浮島	23	20,700	4,600
下浮島	80	72,000	16,000
岩崎	31	27,900	6,200
沼袋	19	17,100	3,800
子抱	21	18,900	4,200
芦田内	34	30,600	6,800
野原	77	69,300	15,400
雪浦	55	49,500	11,000
橋場	142	127,800	28,400
上町	29	26,100	5,800
駅通	113	101,700	22,600
下町・山道	92	82,800	18,400
境田・二ツ森	178	160,200	35,600
秋浦・高梨	35	31,500	7,000
土滝・雨滝	8	7,200	1,600
子九十	16	14,400	3,200
大渡・遠中沢	25	22,500	5,000
太布	13	11,700	2,600
水無	25	22,500	5,000
丸泉寺	11	9,900	2,200
 穀蔵	4	3,600	800
숨 計	4,038	3,633,300	807,400

みたさまの募金が様々な地域福祉事業に役立てられています

岩手県共同募金会岩手町共同募金委員会(会長 藤原徳明)では、平成29年10月1日から12月31 日の赤い羽根共同募金運動月間中に、一般募金と歳末たすけあい募金を行い、町内各世帯を始め、学校、 病院、職場、個人や団体等たくさんの方々からご協力をいただきました。

募金の総額は、一般募金が3,963,665円、歳末たすけあい募金が837,400円でした。

一般募金については、町内で活動する福祉団体やボランティアに関する事業、福祉教育に関する事業、 歩行困難な高齢者や障がいのある方のための外出支援サービスや理美容サービスなど、岩手町の地域 福祉事業等に役立てられます。

歳末たすけあい募金の使い道については、義援金の配分報告をご覧ください。 みなさまの善意が地域を支えています。たくさんのご協力に心から感謝いたします。

●職域募金

(単位:円)

(単位:円) ◆学校募金

(単位:円)

74 I 7 6	45 -tt- A
職場名	一般募金
瀬川モータース	1,303
佐渡医院	10,000
㈱岩手銀行沼宮内支店	2,201
JA 新いわて 岩手支所	3,739
㈱高橋建設	5,000
ケアホーム川口	17,950
岩手町デイサービスセンター	15,982
岩手罐詰㈱岩手町工場	5,000
盛岡中央消防署岩手分署	2,100
沼宮内歯科医院	10,000
ローズランドカントリークラブ	1,300
岩手町役場	8,070
佐々木医院	2,249
北上脳神経外科クリニック	10,910

職場名	一般募金
岩手中央自動車学校	1,476
ベルジョイス沼宮内店	441
宮崎商店	665
佐藤整形外科クリニック	3,449
いわて総合動物病院	1,246
外山商店	2,250
沼宮内郵便局	1,289
岩手トヨペット㈱沼宮内支店	2,145
岩手町社会福祉協議会	6,711
あんずの里	23,265
岩手警察署	1,234
岩手町社会福祉協議会(窓口)	274
森のアリーナ	13,819
職域募金合計金額	154,068

学校名	一般募金
沼宮内高等学校	2,824
一方井中学校	7,649
沼宮内小学校	7,190
水堀小学校	8,551
沼宮内中学校	5,096
一方井小学校	8,523
久保小学校	5,374
川口中学校	15,393
川口小学校	2,600
学校募金金額	63,200

▲甌行草仝

(単位:円)

◆その他募金	◆ そ	の他	募金
--------	------------	----	----

(畄位	田)

		•	^	= 1	
-	悬	(宋)		Ξt	•

(畄代	٠ c	П

A 24 1 2 22 200	(+12.13)
募金者名	一般募金
岩手町老人クラブ大会	1,260
産業まつり街頭募金	35,013
北山形地区文化祭実行委員会	31,250
南山形地区文化祭実行委員会	38,400
興行募金金額	105.923

	募金者名	一般募金
柴田	栄子	7,171
利息		3
	その他募金合計金額	7,174
		(単位 : 円)
		11-1-th A

		(+Ix · I))
	募金者名	歳末募金
田村	サツ子	30,000

一般募金合計額	3,963,665
歳末募金合計額	837,400
共同募金合計額	4,801,065

歳末をすけるい募金

地域歳末 たすけあい運動

地域歳末たすけあい運動は、「みんな でささえあう、あったかい地域づくり」 がスローガンです。

町内の要保護世帯や在宅でねたきり等 の高齢者や重度障がい者等を対象に、歳 末たすけあい義援金として、歳末たすけ あい募金を配分しております。

みなさまからのご協力に感謝いたしま す。

湯治すらの

(単位:円)

配分対象及び経費	配分額
要保護世帯 103 件 要保護世帯人員 185 名	391,000 円
準要保護世帯 50 件 準要保護世帯 65 件	165,000 円
在宅ねたきり・認知症高齢者 10名	70,000 円
在宅重度障がい児・者 17 名	119,000 円
災害被災世帯 1 件	7,000 円
配分経費	5,400 円
地域福祉事業	80,000 円
合 計	837,400円



●生活福祉資金貸付制度とは

他の貸付制度が利用できない、低所得世帯や障がい者世帯などの経済的自立と生活の安定を目指し、国と県が資金を出し合い、民生委員や市町村社会福祉協議会が窓口となって生活援助指導を基に無利子や低利子で資金貸付を行うものです。

●ご利用いただける世帯

・低所得世帯

世帯の収入がおおむね市町村民税非課税程度。 または生活保護法に基づく生活扶助基準の1.7倍 程度

・障がい者世帯

身体障がい者世帯、知的障がい者世帯、精神障がい者世帯

・高齢者世帯

65歳以上の高齢者の属する世帯で、その世帯の 所得が、おおむね生活扶助基準の2.3倍程度(高 齢者を含む4人世帯でおおむね年収600万円程度) 以下の世帯(注:福祉資金については、「日常生 活上介護を必要とする状態」にあることが必要)

・生活保護世帯

生活保護を受けている世帯

●利用にあたって…

・連帯保証人(一部、連帯保証人なしで借りられる 資金もございます)

原則として県内に居住する65歳以下の方で、借 受世帯の償還困難時には債務を履行することがで きる方。

日頃から熱心に相談援助してくれる方で、申込 人よりも収入の多い方。

・利子・返済方法

貸付利子は「年1.5%」(一部、無利子の資金もございます)で、預貯金口座からの自動引き落としとなります。

償還期限内に償還完了できない場合は、残元金 に「年5%」の延滞利子が発生します。

・民生委員児童委員

この資金は生活の安定や立て直しを図ることを 目的としていますので、申込時から償還完了まで、 担当の民生委員が支援、相談にあたります。

・注意

資金の種類によっては、利用できない世帯もご ざいます。制度の詳しい内容については、社会福 祉協議会まで問い合わせ下さい。

●貸付資金の種類

・総合支援資金

失業や収入の減少により、世帯の生活の維持が できなくなった等、生活の立て直しのための貸付 資金です。

・福祉資金

福祉機器の購入や、商売・結婚・出産・葬儀・ 引越・住宅改修等の経費、または日常生活上一時 的に必要な経費等お貸しするものです。

・緊急小口資金

緊急的かつ一時的に世帯の生計維持が困難となる場合の貸付資金です。

・教育支援資金

高校・大学・短大・専門学校等への就学に際 し、入学金や制服等の就学経費と、授業料や通学 定期代等の修学経費の貸付資金です。

· 不動産担保型生活資金

今お住まいの居住用不動産を担保に生活資金を お貸しするものです。

生活福祉資金に関する 相談・申し込み・問い合わせは…

岩手県社会福祉協議会 TEL019-637-4440 または

岩手町社会福祉協議会 TEL62-3570

所在地:岩手町大字五日市 10-51-1



≈生活困窮者自立支援制度尼ラいて≈

平成27年4月から盛岡広域振興局では生活困窮者自立相談支援事業を岩手県社会福祉協議会に委託し、「いわて県央生活支援相談室」を開設しております。

生活・就労・福祉などの問題解決に向けて関係機関と連携しながら専門の相談員が一緒に取り組んでいます。

仕事が見つからない 家賃が払えなくて、アパートを 追い出されそう 生活が苦しい 電気、ガス、水道が止められそう 借金で生活ができない



病気で働けない どうしよう



家族のことで悩んでいる どこに相談したらよいだろう



外に出るのが怖い 人と話をしたくない でも将来が不安





問い合わせ先

いわて県央生活支援相談室 岩手県社会福祉協議会 電話番号 019-637-4473

または、

岩手町社会福祉協議会

電話番号 0195-62-3570

受付時間 8:30~17:15 (月~金) 祝祭日を除く

窓口に来られない場合には相談員が訪問することもできます。 ご家族など周りの方からの相談でも受付いたします。

一人で悩まず、お気軽に相談ください。



~福祉に関する情報コーナ



しました。 平成二十九年十二月十七 日にクリスマス会を開催 (会長 瀬川正春) では、 岩手町手をつなぐ会

んなで楽しい時間を過ご して交流を深めました。 クリスマス会では、み



手をつなぐ会 交流会

のでお気軽にご参加くだ な行事を行っております 催しました。町内の食材 しみました。毎月、様々 を子どもたちと一緒に楽 を使ったランチメニュー レストラン石神の丘で開 二月の子育てサロンは



レストラン石神の丘でお食事会

ご寄附いただいた方の紹介





寄附者名・寄附団体名

● J A新いわて女性部岩手支部······· 40,000 円

●菊地 久夫 様………(切手) 13,900 円分

武治 様……20,000円

●みちのくコカ・コーラボトリング㈱ 西根営業所 様 ……………1,286 円

●岩手町郷土芸能団体連絡協議会 遠藤 一彦 様……… 15,000円

●岩手町立水堀小学校……………1,037円

【平成29年12月15日~平成30年3月2日受付分】